

生徒指導の三機能を生かした授業評価表

生徒指導の三機能	日常の授業に生徒指導の三機能を生かす手だて	自己評価
自己決定の場を与える 《児童生徒の姿》 課題解決に向けて自ら進んで活動し、思考・判断した過程や結果を自分の言葉で表現できる。	◎ 何をどのように考え、どのようにまとめたらよいのかなど、考える視点や方法などを分かりやすく説明している。	
	◎ 自分で気づいたことや考えたことをノートに書かせるなど、発表や意見交流の前に一人で調べたり、考えたりする時間を確保している。	
	◎ 自分の考えをみんなの前で発表する場を設定している。	
	◎ 思考過程や課題解決の過程が分るように、ノートやワークシートの書き方を指導している。	
	◎ 学習の振り返りをさせ、“なるほど”と思ったところや“不思議だな、もう少し調べてみたいな”などと思ったところを明確にさせている。	
	◎ 対立意見を生むような発問の工夫を行っている。	
自己存在感を与える 《児童生徒の姿》 課題解決の場で、自分の果たすべきことや役割を自覚し、友達と話し合い協力しながらそれを遂行することができる。	◎ 児童生徒の実態を把握し、授業のどの場面で、どの児童生徒を生かすことができるか考えている。	
	◎ 役割分担をさせて、一人一人が追究活動に参加するよう促している。	
	◎ 児童生徒が協力して学習できるように、ペア学習やグループ学習などを取り入れている。（学習形態の工夫）	
	◎ グループで協力しなければ解決できない学習課題を設定している。（学習課題の工夫）	
	◎ つまずきや誤答などを肯定的に取り上げ、課題解決の方法を思考する上で、みんなのためになったことを評価している。	
	◎ 一人一人に丸付けを行ったり、良いところを具体的に評価したりしながら、計画的に机間指導を行っている。（個に応じた指導支援）	
共感的人間関係を育成する 《児童生徒の姿》 ありのままに自分を表現するとともに、互いの考えや意見を肯定的に認め合い、学び合うことができる。	◎ 児童生徒の発表に対して、うなずきや相づちで応え、共感的に受け入れている。	
	◎ 良い姿や頑張っている姿は褒め、好ましくない行為については正すことを心掛けている。	
	◎ 相互評価など、お互いの良さを認め合う活動を取り入れている。	
	◎ 友達の発表に対しては、発表者の方を向いて聴かせたり、拍手をしたりするような雰囲気づくりを行っている。	
	◎ 児童生徒同士の発言をつなげ、集団での学び合いとなるようにしている。	
	◎ ペア学習やグループ学習で、課題解決に向けて教え合いの場面を設定している。	